

平成21年度 青少年問題協議会（第1回）会議録

日時：平成21年 6月5日（金）午前10時～

場所：市役所602会議室

1. 委員の変更について

異動等により新たに委員として委嘱された方の紹介（スポーツ青少年課長）

2. 松本会長挨拶

3. (1) 平成20年度和光市青少年関係機関・団体事業報告について

青少年関係団体（和光市地域青少年を育てる会連合会）から事業報告。

和光市地域青少年を育てる会連合会では30周年記念事業として子どもたちが企画・運営するまち「和光スマイルシティ」を開催する予定で、5月17日第1回目の会議を開催しました。実行委員として33名の子どもたちの応募がありその中から、市長1名、副市長2名を選挙で決定しました。今後随時会議を開催します。

青少年問題協議会委員 承認

(2) 平成21年度和光市青少年関係機関・団体事業計画について

委員：交通安全教室や自転車教室について実施されているようですが、道路交通法の改正も含めて、実施しているのか。

委員：交通法の改正のことも含め、指導している。

委員：講習は、1回に2時間かかるので、授業との調整も厳しいが、定着してきている。

委員：5、6年も取り組んでいる学校もあり、素晴らしい。他の学年にも広げていってほしい取り組みである。

委員：放課後子ども教室について白子小、第三小だけでなく、他の学校でも行ってほしい。

担当課長：放課後子ども教室については、下校時、第四小、北原小、本町小で実施している。

土日は、白子小、第三小でスポーツ関連の事業を実施している。

広めていくには、地域の方々のご協力が必要。また、文科系の放課後子ども教室も実施しており、本年度からは本町小で毎月、寺子屋のような教室を実施している。徐々に推進している。

委員：交通安全教室は実施されているが、学校が避難場所になっているので、地域の方々も含めた防災訓練の実施を学校でも検討してほしい。

委員：放課後子ども教室については、余裕教室がなくても、今ある施設の中で、できる場所で検討し、拡大している。

防災訓練については、学校が市民の避難場所になっていることから、くらし安全課と連携の上、検討していく必要がある。

青少年問題協議会委員 承認

委員：平成21年度和光市青少年健全育成重点目標を事務局は説明をしたほうがいいのではないか。重点目標を資料2とするのではなく、会議の一番始めに説明をして、それに基づいて、話し合いを進めるべきだと思う。そして重点目標をどれだけ達成できたかという視点から事業報告等をするべきではないか。

会長：おっしゃるとおり、会議の運営方法を今後検討していきたいと存じます。

(3) 平成21年度青少年健全育成標語募集（案）について

テーマ「会話」（話をしていますか？家族や友達と・・・）

副会長：5月27日の青少年問題協議会幹事会で、今の時代、メールでやりとりをしてしまう、という話から、会話がいないのでは、ということからサブテーマもつけて、標語を作りやすいテーマにした。

今まではテーマとした言葉がそのまま入った標語にどうしてもなってしまう。今回はそれを防ぐ意味でもこのようなテーマとした。

テーマが難しいと応募が減少してしまうなど、テーマによって応募状況が変わるため、各校の先生方から児童・生徒に説明していただきたい。

社会環境浄化でも6月10日にポスターのテーマを決めることになっています。ポスターにつきましても学校でわかりやすく説明してくださるようお願いいたします。

会長：それでは異議がなければ標語募集のテーマを

「会話」（話をしていますか？家族や友達と・・・）とし、募集要領を承認させていただきます、（案）をとっていただきたいと思います。

青少年問題協議会委員 承認

委員：表彰式の時、昨年は名前を呼ばれても返事をしない子どもがいた。

返事をするよう、指導してほしい。また、司会の人は子どもの名前を間違えないで読んでほしい。

副会長：平成21年度は、12月19日に表彰式・発表会があります。子どもたちの素晴らしい作品の発表がありますので、それぞれの団体から皆さん、ぜひいらしてください。子どもの励みになりますのでご理解ご協力ください。

委員：標語の設置場所は1箇所だけか。公民館、コミセンなど皆さんが見るところにも手書きのものでもいいので、はってほしい。

副会長：掲示板にかんしては、2箇所が今年、交代で新しい標語になる。

委員：学校にもはっている。

担当課長：君のライブのときや中央公民館に期間限定で貼っている。

(4) その他

朝霞警察署から事件や少年犯罪などについて地域の防犯状況の報告あり。

平成20年度の朝霞警察管轄地区の刑法犯は4255件発生。平成19年度は4822件。和光市では平成19年度が1331件、平成20年度は1159件となり、172件減少した。押さえられた要因としては、平成20年度の自主パトロール等、地域と警察との連携による成果である。また、和光市駅前交番が優秀賞をいただいた。

少年犯罪について、増加している。(万引き、窃盗、傷害、強盗、暴行など)

薬物犯罪についても増加している。(覚せい剤、大麻)

被害状況として女性が被害にあっている例も増加している。

終了

出席者 松本、阿部、富澤(勝)、高野、大久保、御子柴(久保田代理出席)、木田、小野、丸山、戸部、岩崎、本橋(良)、石田、小結、斎藤、中尾、村山、穴戸、小林、別所、

欠席者 柳下、中村、中島、藤村、本橋、山田、富澤(甚)、大谷、畠山、神杉、浦郷

事務局 富澤課長、喜古課長補佐、結城、萩原

こども福祉課長、産業支援課長、生涯学習課長

傍聴者 なし